

やさい週間情報(第5号)

平成29年5月12日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	7,000~6,500	7,000~6,500	-	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 連休中の出荷がほとんどなかったことから、それまでの在庫も整理され、総体量も少ないことから全体的に堅調な販売となっている。 売場はカット販売中心となっており、特にC品を中心に引合いは強いものの、太物についてはやや荷動きは鈍い状態で推移している。 来週についても引続き、総体量は少ない見込みから強保合での販売となる見込み。
		A3L	7,000~6,500	7,000~6,500			
		A2L	6,000~5,500	6,000~5,500			
		A L	5,000~4,800	5,000~4,800			
		A M	4,400~4,200	4,400~4,200			
		B4L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,500~	5,500~			
		B L	4,800~4,500	4,800~4,500			
		B M	4,200~	4,200~			
		C2L	4,200~	4,200~			
C L	4,000~3,800	4,000~3,800					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,500	6,500		1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 引続き、本県産・北海道産ともに総体量が少なく、市況は保合で推移した。売場はカット販売が中心となっており、C品を中心に徐々に引合いが強くなってきている。 来週についても引続き、総体量は少ない見込みとなっており、C品を中心に引合いは強いことから、堅調な販売が続く見込み。
		A3L	6,500	6,500			
		A2L	6,000	6,000			
		A L	5,200	5,200			
		A M	4,200	4,200			
		B4L	6,000	6,000			
		B3L	6,000	6,000			
		B2L	5,500	5,500			
		B L	4,700	4,700			
		B M	4,000	4,000			
		C2L	4,400~4,200	4,400~4,200			
C L	4,000~3,700	4,000~3,700					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	7,000~6,500	7,000~6,500		カット 68~98円/100g	<p>北海道産（業者物が主体）を中心に本県産の販売。 価格が高止まりしている太物については引合いが落ち着いており、荷動きは鈍化傾向となったものの、引続きC品の注文は多い状況となっている。また、価格は保合推移となっている。 4月以降、北海道産の入荷量が多くなっているものの、来週についても価格は保合推移となる見込み。</p>
		A3L	7,000~6,500	7,000~6,500			
		A2L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		A L	5,300~5,000	5,300~5,000			
		B4L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B3L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B2L	5,500~5,200	5,500~5,200			
		B L	5,000~4,600	5,000~4,600			
		C2L	4,500~4,200	4,500~4,200			
		C L	4,000~3,800	4,000~3,800			
九州	本県産	A4L	7,000~6,800	7,000~6,800		カット 100g 98~78円	<p>管内へは連休中の入荷がなく、今週末からの販売となったこともあり、太物を中心に強めの販売となっている。 まだ、朝晩は涼しいが日中の気温が高く、順調な販売の中、売価の関係からL級の注文は少ないが、依然としてC品の注文が多い。 掘取り作業も概ね終了し、今後の出荷数量も前年割れが続く見込みから、当面現在の価格を保ったまま推移する見込み。</p>
		A3L	7,000~6,800	7,000~6,800			
		A2L	6,500~6,300	6,500~6,300			
		A L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B4L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B3L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B2L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		C2L	4,200~4,000	4,200~4,000			
東北	本県産 北海道産	A4L	6,500~	6,500~	なし	1本売り 480~円 カット 100g 84~78円	<p>本県産中心の販売。 連休中の入荷が少なく、各社在庫が少ない状況となっている。ただ、1本売りの売価が高く、L級中心に荷動きは鈍いものの、C品等のカット販売の動きは良い。 週以降についても大幅な増量は見込めないため、堅調な販売は続く見通し。</p>
		A3L	6,500~	6,500~			
		A2L	6,000~5,500	6,000~5,500			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B4L	6,000~	6,000~			
		B3L	6,000~	6,000~			
		B2L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B L	4,500~	4,500~			
		C2L	4,200~4,000	4,200~4,000			
		C L	4,000~3,800	4,000~3,800			

品名 にんにく

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 香川県産	A 2 L A L A M 秀 3 L 優 3 L 良 3 L	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000 1,000~ 800 800~ 600~	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000 800~ 600~ 500~	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 ｽ^ ｲ産 1 P 158~98 円	本県産氷温品・C A 品中心の販売。 和歌山県産の出荷が終盤となり、香川県産の出荷がピークとなっている。各社とも氷温品、C A 品についてはL Mを中心に荷動きが鈍化している。 また生品については連休明けから数量が増えており、価格を下げながらの販売となっていることから、全体的には弱保合での販売となる見込み。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,000 2,200~2,000 2,200~2,000 1,800 2,000~1,800 2,000~1,800	2,000 2,200~2,000 2,200~2,000 1,800 2,000~1,800 2,000~1,800		L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 徳島産の生品の数量が徐々に増えてきていることから、本県産は、L・M級を中心に荷動きが鈍ってきており、L・M級については先週よりも1段下げでの販売となった。 来週についても、他県産の生品の出荷が増える見込みとなっており、弱保合での販売となる見込み。
大阪	本県産 中国産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,200~2,000 2,300~2,200 2,200~ 2,000~1,800 2,000~ 2,000~	2,200~2,000 2,300~2,200 2,200~ 2,000~1,800 2,000~ 2,000~		L 1 P 298 円	本県産中心に四国産（徳島県・香川県）の新物の販売。 入荷量は多くないものの、安価な転送品の出回りが多く、直荷の販売に支障をきたしている。市場によって異なるが、L級およびM級の在庫が増え始めている状況にある。また、四国産の新物は、今のところ本県産の販売に影響を及ぼしていない。 来週についても、転送品の出回りは多いと予想されるが、価格は保合推移となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L	2,200~2,000 2,400~2,200	2,200~2,000 2,400~2,200		L 1 P 298~258 円	連休前後の荷動きが良好ではなかったものの、極端な流通在庫となった場面もなく、L級は保合、2L級は弱めの販売となっている。 熊本県産の生にんにくが、連休明けから増えだしてはいるが本県産への影響はない。 九州管内にも安価な転送品の案内があり、直荷との価格差が大きくなっているが、柔軟な価格対応で荷動きが極端に鈍くならないよう努める。

品名 にんにく No.2

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,000~ 2,200~ 2,200~	2,000 2,200~2,000 2,200~2,000	なし	L 1 P 298 円	<p>本県産中心の販売。</p> <p>連休明けについては、引き続き入荷量が少ない状況となったものの、高値の影響から荷動きは鈍く、特にL級中心に市況は弱含み推移となっている。</p> <p>他県産の生品の入荷は無いものの、荷動きの鈍さから、来週については市況は弱含み推移の予想。</p>

品名 アスパラガス

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 本東北産	100g A L 150g A L	180~160 円 250~230 円	160~140 円 230~200 円			<p>東北各産地を中心とする本県産の販売となっている。</p> <p>連休明けから遅れていた東北各産地の出荷が徐々に増えてきており、市況は下げ基調で推移している。</p> <p>来週についても各産地の出荷が増える見込みから、更に市況は一段下げての販売となる見込みだが、末端の売価が市況の下げとともに下がってきており荷動きの回復が見込まれる。</p>
大阪	九州産 本県産	150g A 2 L 100g A L A M A S	270~ 200~ 180~ 140~	270~ 200~ 180~ 140~			<p>中国産（広島県・岡山県）と本県産の販売。</p> <p>今週から出遅れていた中国産の入荷が本格化したため、入荷量が急増しており、価格も下げ基調となった。</p> <p>来週についても、中国産が増量傾向となっているため、価格は引続き下げ基調となる見込み。</p>
東北	本県産 東北産	100g A L 150g A L	本県産 180~ 160 230~ 220	本県産 160~ 140 220~ 200		—	<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産の入荷が連休明けから増量となっている。ただ、朝晩の冷え込みから、平年と比べると出荷ピーク時の数量が少なく、市況は軟調推移の展開。</p> <p>来週については、本県産の出荷量がさらに増量となることから市況は一段下げの予想。</p>

品名 きぬさや

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	1 kg A M	3,000	3,000			<p>愛知産や西南暖地が終盤、福島県産のハウス物の出荷も終盤となっており、総体的に少ない状態で推移している。連休前から連休明けにかけて福島県産がピークとなり価格も一時的に下げたものの、現在は終盤となり数量は減ってきていることから価格を持ち直してきている。</p> <p>来週についても各産地ともに、それほど多くない見込みから保合での販売となる見込み。</p> <p>来週末から露地物の出荷が始まり今月末から翌月始めにかけてピークをむかえる見込み。</p>
	福島県産	1 kg A M	1,300	1,300			
大阪	和歌山県産	A L	2,800～	2,800～			<p>広島県産・和歌山県産・本県産の販売。</p> <p>本県産と同様に業務需要が中心となる広島県産の入荷量は多くないものの、業務需要が活発でないことと、安価な和歌山県産の引合いが強いことから、荷動きとしては良くない。</p> <p>来週も、業務需要に大きな変化はないことから、同様の傾向が続く見込み。</p>
	広島県産	A M	3,500～3,000	3,000～			
	本県産	B L	2,000	2,000			
		B M	2,300～2,000	2,300～2,000			
東北	本県産	A M	3,000～	3,000～	なし	—	<p>本県産の入荷量が日々増量となっている。</p> <p>現在はハウス物中心の販売となっており、露地物の入荷がまだ増加していないことから、市況は保合い推移となっている。</p> <p>来週については、本県産の出荷量は増加見込みから、入荷量次第ではやや弱含みも予想される。</p>

品名 だ い こ ん

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	千葉県産	A 2 L A L	1,000～ 900 1,200～1,100	1,000～ 900 1,200～1,100	—	1本 198～178円 ハーフカット 98円	千葉県産を中心に関東近在産の販売となっている。4月の気温高、適度な雨の影響から前進出荷となり現在は端境期を迎え堅調な販売となっている。 来週いっぱいにはそれほど多くないものの、再来週あたりからは再び増える見込みとなっており、来週の販売については保合での販売となる見込み。
東北	関東近在産 本県産	A 2 L A L	本県ハウス物 1,200～ 1,300～	本県ハウス物 1,200～ 1,300～	—		連休明けから本県産ハウス物の入荷がスタートとなった。関東近在産の単価も好調なことから、高値での販売スタートとなっている。 来週については、本県各産地が徐々に出荷スタートとなるものの、出荷始めから数量少なく、市況は保合い推移の予想。